

今月と来月（或いは再来月まで）は、番外編として「家」についてのエッセイを書かせてもらうことにする。

この欄、すでに四百回を越えたが、最初はずつとエッセイのページだった。主として短歌についてのエッセイだつたが、折々のそのときの興味の方向で随想を書かせてもらっていた。最初はもう三十余年も昔になる。四交代の私の興味の方向に従つて、題材は選ばれていた。

未確認だが、たしか百何十回かごろから、「今月の十五首」についての感想を書くようになつた。ひさびさのエッセイである。

八月半ばかり、ここ静岡県の十里木高原に来ている。最初のころは、ヒグラシとウグイスが競うように鳴いていたが、どこへ行つてしまつたのか、彼らの声は聞こえなくなり、キビタキの雄たちが大きな声で鳴きかわす声が聞こえるようになった。東京どちがつて木々はみな太く背が高い。鳥たちも気持ちがいいのだろう。

ここは富士山の裾野。標高一千メートルほど。富士山が近すぎて木々に隠れてよく見えないのが残念だが、一二分歩けば大きく富士山が見える。

三ヶ月弱のことだから、ホテル暮らしとかウイークリーマンション住まいでもいいのだが、大きな犬がいるのでそれができない。白犬・テオも、もちろんここに一緒に来ている。

テオの散歩中によく鹿が出てくる。二匹あるいは三匹

短歌の現在

No.439 今月の15首を読む

佐佐木幸綱

で、平気で道路を歩いていたりする。近づいてもなかなか逃げない。じっとこちらを観察していたりもする。テオはいきり立つて大興奮である。先日はわが家の前にも出てきた。

リスもよく見かける。タヌキもいるそうだが、まだ見たことはない。過日は、「熊の目撃情報があつたので注意を」との掲示があつた。

東京どちがつて不便なのは、買物先が遠いのとメール・ネットの不具合。

買物は二十キロほどはなれた御殿場市街まで行かなればならない。そのうち四キロは曲がりくねつた急坂を下る。朋子とテオを乗せて、私が運転して行く。土日は「富士サファリパーク」行きの車で、時間によつては渋滞したりする。

沼津港に近いから魚介類は新鮮で豊富だ。野菜や果物もさすが静岡である。炎天下の駐車場だと、テオを置いておけないので困るが、幸い大きな地下駐車場のあるスーパーがある。

メールは気まぐれで、繋がつたり駄目だつたり。二日か三日に一度、大量のメールを受信する。こちらの発信も気まぐれで発信不可の通知が出たりする。OKでもじつさいには届いていなかつたりする。ネットはほとんど駄目。ルーターを買い換えればいい、とかいろいろアドヴァイスしてもらうが、私にはよく分からないし、しばらく